

『NHK年鑑』を利用される方に

『NHK年鑑』は、1931年に『ラヂオ年鑑』として創刊され、テレビ放送の始まった翌年の1954年に『NHK年鑑』と改称されました。

太平洋戦争中に3年間（1944～1946年）休刊した（1947年版でまとめて掲載）ほかは毎年発行して放送の歩みを体系的・継続的に記録し続けてきました。

本書2014年版は、原則として2013（平成25）年4月～2014（平成26）年3月の動きを対象に記録しています。

本書の主なポイントは以下のとおりです。

○東日本大震災関連については、引き続き、口絵グラビアで紹介するとともに、第1部「2013年度の動き」の中で章を設け、復興に向けた動き、原発事故のその後、NHKの取り組みなどを掲載しました。

○新しい放送サービスである「ハイブリッドキャスト」「4K・8K（スーパーハイビジョン）」の動向について、口絵グラビアで紹介するとともに、第1部「2013年度の動き」第1章「放送界の動き」に掲載しました。

なお、本書から、利用者の便宜に供するため、小口（本を開く側）に見出しを付けるインデックスを新設し、検索しやすいようにしました。

刊行するにあたって、ご協力いただきました多数の執筆者、また、編集関係の各位に対し厚く御礼申し上げます。

表記方法など

- ①表記は、原則として『NHK漢字表記辞典』（新常用漢字表に対応）、『NHKことばのハンドブック 第2版』に準拠した。
- ②年の表示は、原則として西暦で統一した。
- ③固有名詞（社名など）の漢字は、人名以外は、原則として新字体で統一した。
- ④企業名、チャンネル名等については適宜、通称・略称を使用した。
- ⑤番組名には『 』、シリーズ名や個別のタイトルには「 」を使用した。
例：『NHKスペシャル』『“認知症800万人”時代』
- ⑥番組解説等については、次の記号を使用した。
総合テレビ=G ラジオ第2=R2
Eテレ=E FM放送=FM
BS1=BS1 テレビ国際放送=T国際
BSプレミアム=BSP ラジオ国際放送=R国際
ラジオ第1=R1
- ⑦NHK関連団体については次のように略称した。
NEP =NHKエンタープライズ
NED =NHKエデュケーションル
Gメディア =NHKグローバルメディアサービス
JIB =日本国際放送
NPN =NHKプラネット
SV =総合ビジョン
- ⑧「放送日誌」の作成には、以下を参考にした。
朝日・毎日・読売・日経の各紙
『新聞研究』『月刊民放』『放送研究と調査』
- ⑨視聴率は、特に断らない限り「ビデオリサーチ調べ、関東地区」を使用した。
- ⑩口絵グラビアは、NHKのニュース、番組広報写真のほか、共同通信社・朝日新聞社などの写真を使用した。